

平成26年度

民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

※本文各項の「対象使命」欄で太字になっているものが、業務に該当する使命。

※分担欄の「市」は川崎市、「指」は指定管理者の事業。「市・指」は共同で行うことを示す。

■外部評価の目的

(2009.3日本民家園協議会資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■添付資料

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門整備計画
3. 民俗部門展示・出版計画
4. 民家園叢書一覧及び計画
5. 大岡文庫関係出版物一覧及び計画
6. 総合防災設備整備計画
7. 事業報告

■目次

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

(2) 展示及び教育普及活動の充実

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】

【展示】【教育普及】

【総務】

【情報発信】

【管理】

26年度

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

対象使命	<p>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。</p> <p>2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。</p>	<p>3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。</p> <p>4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</p>
-------------	--	--

現状：東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。収集資料については、民具の整理を企画展示と連動して行い、目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業・耐震事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H26年度計画	H26年度事業実績	指標	今後の課題
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修、その他補修工事実施。保存修理における伝統技術継承。燻煙と清掃の定期的実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証、遂行できる体制の確立。	市・指	工藤家便所・岩澤・蚕影山屋根工事。各種軽易工事。 文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証。	工藤家便所・蚕影山屋根工事、各種軽易工事(作田・太田差茅、菅原・岩澤軒内叩き、太田耐震応急補強、岩澤軒補修)実施。文化財建造物を良好な状況で維持するため、専門的業務内容について外部有識者の助言を得る。	計画に対する達成度	文化財建造物保存修理技術者の継続的確保。岩澤家屋根補修の早期実現。耐震を伴う屋根補修の計画的推進。傷みが少ない段階での小破修繕実施。
②収蔵資料整理の推進	26年度に各民家寄贈資料の整理完了。川崎市域の資料に着手。収蔵環境の改善。耐震性の低い民家での屋根裏収納一部解消。大岡資料整理実施。	市	山田家収蔵資料整理。 山下家屋根裏資料移動準備。 大岡資料整理。	山田家資料、大岡資料整理実施。山下家屋根裏資料梱包作業開始。	計画に対する達成度	山下家屋根裏資料の移動場所確保。
③総合防災体制の整備	消火設備・自火報・ITV・炎感知器の新システム稼働。耐震診断・補強設計・補強工事の実施。	市	自火報・消火設備等新しい設備完成始動(一部残)。鈴木家耐震補強工事完成。三澤家耐震実施設計完了。山下家耐震基本設計完了。	自火報・消火設備等新設備完成始動。鈴木家耐震補強工事完成。三澤家耐震実施設計一部繰越(より古民家に相応しいものとするため次年度5月まで繰越)。山下家耐震基本設計完了。	計画に対する達成度	菅原家の耐震診断予算付かず。旧防災システム(埋設水道管・ドレンチャー設備等)撤去。耐震診断未実施棟の診断着手。
④調査・収集・研究の推進	エリア・内容を広げた旧所在地調査と、市域の暮らし調査着手。大岡資料調査実施。博物館団体・研究者等との交流推進。(註1)	市	山田家・佐地家聞き取り調査実施。水車小屋調査まとめ。 園内石造物の調査。 野外博物館団体・研究者との交流。	山田家・佐地家聞き取り調査実施。水車小屋調査まとめ。全国民家集落協議会例会出席。	計画に対する達成度	民俗調査の継続的実施。
⑤学芸活動の成果公表	27年度に古民家資料目録完結。28年度以降、民俗調査報告書刊行。大岡資料目録・民家園叢書の編集・刊行。	市	山田家資料目録刊行。 『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』刊行。叢書編集継続。	『収蔵品目録20 旧山田家住宅』(調査報告含む)、『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』刊行。叢書編集継続。	計画に対する達成度	叢書『民家園草創期の記憶6』刊行。

外部評価 評定意見	<p>●文化財建造物を良好な状態で維持管理することは、日本民家園の基幹業務であるが、前年度の入札不調により建造物の保存修理計画に遅滞がみられることは、文化財の保存と活用の面で懸念を抱かざるを得ない。小規模な応急工事は迅速に実施しているがこれによる対応には限度がある。設置者・所有者としての責任をもって文化財建造物の保存修理工事が計画的に行われるよう、引き続き予算確保に向けて取り組むよう求めたい。●民家の耐震補強事業は、来園者の安全確保の観点から計画的に進めていく必要があるが、民家の文化財価値を損なうことのないよう関係者に最大限の努力を求めたい。●有形民俗資料の収蔵環境については、現状で劣悪な状態にあり、かつ耐震補強工事を進める上でも、資料の移動が不可欠な状況にある。民家と共に当時の生活道具である有形民俗資料も重要な博物館資料であることを踏まえ、これらを適切な環境で保管できる収蔵施設の確保が急務である。課題の解決に向けて関係方面への一層の働きかけを求めたい。●調査・研究活動は概ね計画に沿って進められ、その成果も刊行物として公表されている点は評価される。</p>	B
----------------------	---	----------

註1

長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。

(2) 展示及び教育普及活動の充実

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で、各古民家の暮らしについては企画展示室で順に紹介している(資料2,3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・お茶会・昔話等を実施しているほか(資料7,8)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入も行っている。民家園の教育普及活動を支える炉端の会・民具製作技術保存会とは協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分 担	H26年度計画	H26年度事業実績	指標	今後の課題
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	川崎市域の資料を活用し、さわれる展示コーナー設置。古民家内展示整備(生活展示)。各棟解説板を全棟に整備。	市	山田家内民具再配置。民具展示盗難対策。さわれる展示試行。各棟解説板継続設置。音声ガイド原稿翻訳。	山田家・太田家内民具展示整備。山下家内民具一部収納。各棟解説板設置(7棟)。音声ガイド原稿書き直し。	計画に対する達成度	さわれる展示試行。音声ガイド仕様検討。
②企画展示の充実	26年度に各古民家をテーマとした展示完了。引き続き民家園の特性を活かしたテーマ展示開催。企画展示室再整備。	市	大工道具展、山田家展開催。プレ50周年特別展(「運ぶ」)準備。	企画展示「大工さんの道具箱」「ダムに沈んだ村ー越中桂・旧山田家住宅ー」開催。プレ50周年展「昔話展」「育児道具展」企画準備。	企画展示室入室者数	本館企画展示室仕様検討。
③各種講座の充実	企画展示に合わせた講座開催。建築の見方に関する講座開催。建築に関する体験講座検討。	市	大工道具展連動子ども講座、山田家展開連講座、建築の見方講座、各種体験講座の開催。体験講座の内容・実施方法等見直し。受講者ニーズ把握。	こどもワークショップ「なぞとき大工道具」、講座「民家の間取り」・「30歳の民家」、各種体験講座開催。集計したアンケートをもとに民技会と次年度体験講座内容検討。	受講者アンケート満足度(註2)	子供向け講座の充実。
④建物解説・ガイド・図書コーナーの充実	ガイド担当者のスキルアップ。原家図書コーナー充実。	市	解説補助パネル作成。園内ガイド実施方法・研修検討。原家図書コーナーの内容、利便性向上(配架方法検討)。広報充実による利用者数増。	「くらべてみんか」解説補助パネル作成。園内ガイド・園外研修実施方法検討。原家図書コーナー配架リスト作成、書架増設と分野ごとの配架実施。	解説・ガイド参加者数(註3)	図書コーナーの広報。
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出す催し物開催。旧所在地交流事業等実施。指定管理者の自主事業との連携。	市・指	お茶会・芸能公演・民具製作実演・昔遊び・昔話・年中行事等の開催。桜と紅葉に合わせ、夜間公開日程変更。旧所在地交流事業(南砺市・甲州市)。教育普及事業の実施検討。大和なでしこ入門(茶道・香道・着付)・古民家カフェ等、指定管理者自主事業の年間を通した実施。	子供まつり(巨大兜作り他)、納涼民家園、川崎フロンターレ共催クイズラリー、お正月を遊ぶ(甘酒配布他)、岩手郷土芸能、お茶会、芸能公演(人形浄瑠璃・歌舞伎)、民具製作実演、昔話、年中行事(月見・小正月他)、夜間公開(紅葉・桜に合わせ日程変更)、旧所在地交流事業(南砺市・甲州市の民俗芸能他)、大和なでしこ入門(着付け・作法)、ペーコマ大会、古民家カフェ(昼・夜)、民家園切り絵展(ヒーターセンター)	参加者数(註4) 無料入園日 入園者数	旧所在地交流事業増に伴い既存事業の統廃合・実施方法検討。市・指定管理各企画事業の担当分野精査。催事混雑時の対応方法検討。

⑥伝統工芸館の充実活性化	民間発想を活かしたサービスの向上と知名度アップ。	市・指	藍染め体験・展示の広報強化。学校向け講座PR。夏休み生葉染め体験、親子こいのぼり染め実施。外国人向け・子供向けリーフレットの作成。ニーズに合ったワークショップの開催。	学校向けチラシ、カラー刷り新リーフレット、子ども・外国人向けリーフレット作成。生葉染め・こいのぼり染め・風呂敷染め・ストール染め、靴下染め等の体験プログラム新規追加。冬の暖房設備改善。	体験者数	壁紙の張り替え等展示スペースの改善。
⑦学校との連携の強化	小学校の体験学習・社会科見学、中・高・大学の利用、教職員向け研修の利用促進。	市	体験学習・社会科見学・博物館実習の受入。ワークブックの改訂。	体験学習・社会科見学・博物館実習・中学校職場体験学習の受入。	見学校数、体験実施校数	体験学習・見学が重なったときの安全対策。ワークブック改訂。
⑧市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会への活動支援。催し物に伴う市民団体との連携強化。協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進。	市・指	民技会への活動支援。市民団体(昔話等)への支援。新たな団体の開拓。協力者会議、協議会の開催。開園50周年事業に向けた市民協働の取組み検討。	民技会地域社会事業賞受賞手続き支援。猫つぐら冊子1500件以上発送。市民団体協力による催し物(昔話等)。協議会開催。協力者会議で50周年事業検討。	計画に対する達成度	開園50周年事業の内容具体化。民技会書籍の受注・発送方法検討。
⑨ボランティア団体の活動支援と育成	研修機会の提供。諸活動の支援。自主性・多様性を持った活動の促進。	市	学習会等研修機会の提供。ガイド等諸活動・新規チーム活動・20周年事業への支援。ボランティア講座開催。自主的運営の促進。	旧所在地研修(山形)、20周年事業、川崎文化賞受賞に伴う手続き、ガイド等諸活動・新規チーム活動支援。ボランティア講座開催。	床上公開棟数・利用者数、炉端活動延人数	自主的活動の推進。

外部評価 評定意見	<p>●企画展示・講座・各種の催し物の実施状況は大変充実したものと評価できる。●民家園を拠点とする市民活動団体との連携をさらに強化し、ボランティア活動参加者・来園者・民家園の三者が各々有益となるよう、解説活動や各種行事の一層の充実等を検討することが期待される。●ソーシャル・ネットワーク・サービスの急速な普及に鑑み、これを活用した解説等の教育普及について、検討することが期待される。●学校団体の受け入れとそこでの体験活動については、学校側から高い評価を得ている。なお今後のワークブックの改訂にあたっては、細部まで児童等の発達段階に配慮した形式にすることが望まれる。</p>	A
--------------	--	---

- 註2 ①民家園講座 「講座の内容はどうか?」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- ②体験講座 「参加してどうか?」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- 註3 民家解説・展示解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。(P8統計参照)
- 註4 資料7の教育普及活動一覧から講座・園内解説・床上公開・学校体験・職業体験・博物館実習・民家園まつりの無料入園・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。(P8統計参照)

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	<p>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。</p> <p>2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。</p> <p>3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。</p> <p>4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</p>
------	---

現状: アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。また、H25年度より指定管理者制度を導入し維持管理(文化財を除く)・広報業務を主に指定管理者が、学芸等業務を市が実施している。危機管理については、防災訓練を実施、危機管理マニュアルも作成している。人的な資質向上をめざして各種研修を実施、年間パスポートの販売等、リピーター確保のため工夫を重ねている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H26年度計画	H26年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施。実施・公表方法の検討。	市・指	アンケート継続実施。活用方法の検討。回答として「よくある質問」を増補。アンケートBOXの改善。	アンケート継続実施。「よくある質問」増補着手。新アンケートBOX作成。	来園者アンケート満足度(註5)	アンケート件数のアップ。「よくある質問」の継続的増補。
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用。	市・指	評価制度の継続活用。市の次期総合計画案への民家園中期計画主要部記載検討。	評価制度継続活用。市次期総合計画に先行する「新教育プラン(案)」に中期計画主要部(耐震・50周年)記載。	計画に対する達成度	評価制度のさらなる活用。
③効率的な運営	指定管理制度導入にともなう運営管理体制の確立と質的向上。	市・指	市と指定管理者が協議し、広報・市民協働・自主事業及び学芸等活動で効率的で質の高い事業を実施。	指定管理の利点を活かした自主事業の複数実施。公園事業と同時開催による集客アップ。広報活動の効率化で市主催事業の参加者増加。	計画に対する達成度	各事業における市と指定管理との協力体制の維持。
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの改良と運用。防災訓練の内容充実と継続の実施。	市・指	危機管理マニュアル(民家園・生田緑地)改善。全体訓練3回以上実施。本館火災訓練等、対象を限定した訓練を実施。災害救援自販機設置。	新防災システムに対応し災害対応マニュアル改訂(民家園・生田緑地)。防災訓練5回実施(本館・蕎麦屋・囲炉裏・合同・放水)。災害救援自販機設置。	計画に対する達成度	新防災システムの習熟。防犯カメラの増設。非常事態即応のため平時における緊張感の維持。
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営。(註6)	市・指	入園料・受講料・物販など収入増を図るための方策検討。目標16%(25年度は15.7%)。	読売新聞購読者サービス入園券対応。16.1%(15.3%)。	歳出に占める歳入の割合(註7)	有料入園者数確保のため新規広報先検討。
⑥組織と職員の資質向上	園内の情報共有化。市専門職の長期確保。各職員の資質向上。(註8)	市・指	市と指定管理者との情報共有化。専門性の高い職員の継続的確保策検討。	朝ミーティング実施。警備清掃会議。生田緑地全体会議等で情報共有。	計画に対する達成度	研修機会の確保と研修を受けやすくするための組織的配慮。
⑦来園者確保	入園者数 年間11万人。リピーター(年間パスポート)増。	市・指	目標11万人、年パス利用者3500人。	入園者数124,527人。年パス利用者4,908人。	入園者数、パスポート売上枚数・入園者数(註9)	真夏、真冬の催事強化。

外部評価 評定意見	<p>●入園者数、入園料収入等の定量的な指標での目標を達成したほか、リピーター獲得に向けた取り組みも成果が認められ、大いに評価できる。●防災システムの大幅更新にあわせ、防災マニュアルの改訂や防災訓練を実施している点は良い。新システムの本格始動に合わせ、様々な場面を想定した訓練の確実な実施等、民家園及び生田緑地全体での危機管理体制を、関係機関と連携しながら構築・維持することが期待される。●指定管理者制度の運用も安定して行われており、成果を上げている。職員間での日常の連絡調整を密にするとともに職員研修等の着実な実施等を通して、更に効果的な運用がなされることが期待される。●事業評価制度に基づく目標設定、計画、事業実施、点検評価及び改善のサイクルが定着し、確実に運用されている点は評価される。外部評価を担ってきた民家園協議会は、新たな機関に移行されるが、新機関についても、博物館法の規定及びその立法趣旨を汲んで組織及び運営がなされ、事業の外部評価も継続的に担当されるよう要望する。</p>	A
--------------	--	---

註5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。(P8統計参照)

註6 「民家園の魅力を高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。

註7 H25年度以降⇒歳出＝経常経費の決算額(指定管理料・人件費含む、工事等特殊経費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)
H24年度まで⇒歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災等特殊経費、人件費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)

註8 専門職の配置のあり方の検討が必須である。

註9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけで良いのではなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： インターネット(ホームページ・フェイスブックなど)による広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレット・ホームページの多言語化、内容の拡充を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H26年度計画	H26年度事業実績	指標	今後の課題
①民家園の魅力発信	民活効果による効果的な情報発信。インターネットによる情報発信強化。市内への周知、国内及び海外への発信強化。	市・指	各種広報物の作成・配布。広報掲示板等を活用した市全域(特に南部)への周知強化。入園者600万人記念セレモニー実施。イベント中継・記録映像の制作検討。画像のダウンロードサービス検討。	ポスター・チラシ作成。市広報掲示板・アゼリア広報コーナー・区役所デジタルサイネージ広報。600万人記念セレモニー実施。フロントレホームゲームで工作教室・物販販売。プレスリリース迅速化。猫ツグラ取材受入によりHPアクセス数増。	HPアクセス数	開園50周年に向けた広報。
②外国人向け広報とサービスの充実	海外の民家博物館へのリーフレット配布。外国語リーフレットのHPアップ。ドイツ語リーフレット作成。英語ガイド充実。	市・指	英語版HPの改訂。羽田空港・ホテル・語学学校等へのPR。各大使館等へのリーフレット配布。海外の民家博物館HPへのリンク掲載依頼。英語ガイドとの連携。Wi-Fi環境の充実検討。	英語版HP改訂。羽田国際ターミナルに英語版ポスター掲示。ホテル・外国語学校・大使館等へ外国語リーフレット配布。タイの博物館と連携しHPリンク。ビジターセンター・伝統工芸館等にフリーWi-Fi整備、外国人向けWi-Fiカード配布開始。	外国人入園者数 英語版HPアクセス数	外国人対応のレベル向上。非常ベル発報時の英語によるアナウンス。
③優待サービス拡充と周知	年間パスポート利用促進。生田緑地複数館割引、駐車場割引、地元商店街との連携など割引サービスの拡充。	市・指	年間パスポート利用促進。学校向け優待券発行継続。生田緑地複数館割引・駐車場割引・地元商店街との連携など割引サービスの周知。しんゆり芸術祭との連携による新しい利用者層の誘致。	年間パスポートキャンペーン実施(購入特典をスタッフ製作)。イオンとの連携によるカード持参者へ割引開始。しんゆり芸術祭との連携による利用者誘致(半券持参による入園料割引)。	計画に対する達成度	窓口における優待サービスの明確な案内表示。
④観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携。民活効果による観光業界へのアプローチ。	市・指	経済労働局商業観光課・観光協会との連携による広報物の作成。観光業界へのアプローチ。	商業観光課・観光協会との連携による英語版「生田緑地へ行こう！」制作、都内ホテルに配布。産業観光振興協議会インバウンド部会における協議。スタンプラリー達成者への手作りプレゼント。	計画に対する達成度	広域広報(指定管本部)の協力と情報共有。大型バス駐車スペースの確保。観光業界へのアプローチ。
⑤生田緑地の情報発信	民活効果による生田緑地全体の広報活動強化。ビジターセンターでの広報強化。	市・指	東口ビジターセンターでの生田緑地共通広報強化。生田緑地HP支援。区民祭等での関係機関との連携。ライン・ツイッター・フェイスブック・ブログでの情報発信。MCCフォトシステムを利用した情報発信。	ライン・フェイスブック・ブログによる緑地広報。MCCフォトシステムに代わりグループウェアによる情報共有。生田緑地ポスター作成。成人式での動画放映。サマーミュージアム・区民祭等での市内大学との連携広報。	計画に対する達成度	緑地広報との連携。効果的な役割分担。

外部評価 評定意見	● 広報活動は地道に対象範囲を広げており、また、来園者を獲得するための外部団体との提携も進めている点は評価できる。● 外国人向けリーフレットの多言語化は、市の機関の中でも最上位に位置する点は大いに評価できる。今後は訪日外客数の実勢を踏まえた言語の追加や、外国関係の機関・施設への積極的な働きかけにより、実際の来園に結びつける広報の更なる工夫が期待される。● 児童用や高齢者用のリーフレットや園内地図の作成を検討することが望まれる。● 最寄駅から民家園までの来園経路上の案内について、充実に向けた関係機関への働きかけが期待される。	B
----------------------	--	----------

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： 来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備し、休憩スペースの確保を進めている。オリジナルグッズの開発・販売や窓口業務改善に努めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家園に相応しい植栽や案内板の補修・増設、バリアフリー拡充等を行っている。また24時間人的警備により来園者と文化財の安全確保に努めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H26年度計画	H26年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者サービス施設の維持・整備	快適な施設環境の提供。休憩スペース確保。食事提供施設のサービス向上。	市・指	古民家床上の食事スペース提供継続。正門受付に園内紹介用モニター設置。	古民家床上の食事スペース提供棟増。デジタルサイネージによるイベントごとの映像紹介、緑地通行者への広報実施。そば屋の案内板増設。	計画に対する達成度	古民家床上の食事スペース提供見直し。緑地広報と連動したデジタルサイネージの映像更新。
②敷地内環境の整備とバリアフリーの推進	植栽管理水準維持。ボランティアによる清掃・植栽管理の支援。展示通路・案内板・手すり・敷居スロープの整備。	市・指	古民家に合わせた植栽管理実施。行事用ニワトコの栽培促進。案内板・火気厳禁表示板等作成・修繕。敷居スロープ1箇所増設。園路手すりの設置場所検討。	計画に基づき植栽管理。園内全域危険木等調査。屋根を覆う樹木伐採。樹木医による診断実施。案内板修繕(火気厳禁表示板)。年中行事展示用ニワトコ挿し木栽培。スタッフによる小修繕(手すり・竹柵・門扉等)。	計画に対する達成度	旧防災設備撤去計画をにらみ可能な場所に手すり設置。車椅子・ベビーカー使用前提の園路改善。夏の草取りの徹底。経年劣化した竹柵等の修繕。
③来園者の安全確保と文化財の警備	文化財の破損・盗難・火災防止、来園者安全確保、案内等、質の高い警備の継続実施。	指	防犯カメラの確実な運用。質の高い警備の継続実施。民家園の実情に合わせたマニュアル整備検討。	各業務マニュアル整備。新防災システムの運用開始。園路泥濘対策として落葉・人工芝活用。	計画に対する達成度	耐震工事等の部分閉園における的確な案内と警備体制の確立。
④オリジナルグッズの開発と販売促進	魅力的なオリジナルグッズ開発。販売促進のためディスプレイ等改善。	市・指	ミュージアムショップリニューアル。オリジナルグッズ開発と販売促進。ミュージアムショップで民技会の作品販売。	券売と両立可能なショップ実現に向け準備開始。正月向け商品(ぼち袋・ぼち袋ケース)の開発と販売。	計画に対する達成度	ミュージアムショップ充実。繁忙期の人員確保。
⑤窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	効果的なインフォメーション業務実施。研修(接遇・博物館概要)の充実。	指	窓口業務の質向上。研修の実施(指定管理者の社会教育職員研修への出席)。学芸班による職員向け学習会実施。ミーティング充実。職員向け英語研修実施。	JV内勉強会実施。学芸班による朝の3分学習実施。	計画に対する達成度	研修参加時のシフト変更。

外部評価 評定意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 来園者の安全確保について、新防災システムの習熟と共に、多客時・夜間開園時の在り方をハード・ソフト両面で検討すること。 ● ミュージアムショップは、魅力あるグッズ開発・売り場構成と共に、通信販売の要望に対する利便性の向上についても検討することが期待される。 ● 園内の環境整備、バリアフリーについて、計画的に推進するように努めること。 	B
----------------------	--	----------

■各種統計 ※事業評価シート項目順

		平成26年度(3月末最終)	平成25年度	平成24年度
1	企画展示室(山下家2F)入室者数 ※センサー数÷2	27,835人	26,159人	29,214人
2	企画展示解説回数(人数)	12回(88人)	9回(85人)	10回(65人)
3	受講者アンケートによる満足度	①－%②87%	①64%②91%	①－%②97%
4	解説・ガイド回数(参加者数)	391回(5,095人)	355回(4,417人)	450回(4,600人)
	内訳1)民家解説 ※「くらべてみんか」含む	18回(199人)	10回(201人)	9回(300人)
	内訳2)園内ガイド	245回(2,100人)	228回(1,678人)	300回(1,564人)
	内訳3)団体ガイド ※英語ガイド含む	128回(2,796人)	169回(2,538人)	141回(2,877人)
5	催し物参加者数 ※資料7の教育普及活動一覧から講座・園内解説・床上公開・学校体験・職業体験・博物館実習・民家園まつりの無料入園・多摩区民祭を除いた事業の参加者数	15,626人	10,860人	9,487人
6	無料入園日入園者数 ※民家園まつり・多摩区民祭。	11,440人	9,654人	10,782人
7	ハンカチ染め他体験人数	2,626人	2,217人	1,897人
8	見学学校数 ※幼～高校、学校体験除く	127校	102校	115校
9	学校体験実施校数	70校(市立65、市内私立0、市外5)	74校(市立69、市内私立0、市外5)	75校(市立68、市内私立0、市外7)
10	床上公開棟数	1,098棟	1,109棟	1,028棟
11	床上公開利用者人数 ※団体除く	147,325人	118,055人	130,372人
12	床上公開利用団体数	751団体	651団体	647団体
13	炉端活動延人数 ※炉端の会	4,353人	4,266人	3,985人
14	来園者アンケート満足度	93.0%	96.7%	95.0%
15	歳出に対する歳入の割合 ※()内は特殊経費・国庫補助金を含む場合(註6)	16.1%(15.3%)	15.4%(17.1%)	[25年度からの計算式]19.7%(22.8%) [24年度までの計算式]35.8%(26.5%)
16	総入園者数	124,527人	109,710人	123,453人
17	年間パスポート売上枚数	1,482枚	1,369枚	848枚
18	年間パスポート売上枚数内訳 1000円券／600円券	1,204枚/ 278枚	1,053枚/ 316枚	707枚/ 141枚
19	年間パスポート入園者数 / 平均利用回数 / 割合	4,908人/ 3.31回/ 3.9%	3,852人/ 2.81回/ 3.5%	3,163人/ 3.72回/ 2.6%
	内訳)年間パスポート入園者 1000円券／600円券	4,078人/ 830人	2,944人/ 908人	2,804人/ 359人
20	園HPアクセス数	696,601件	[26年度からの計算式]436,273件 [25年度までの計算式]134,900件	122,295件
21	外国人入園者数	5,169人	3,539人	2,931人
22	園英語HPへのアクセス数	29,124件	[26年度からの計算式] 16,156件 [25年度までの計算式] 6,042件	6,853件
23	市政だより掲載依頼件数(内掲載件数)	103件(23件)	127件(25件)	204件(43件)

No	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
1	重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)							差茅		
2	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部								差茅	
3	重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)	部分差茅						差茅		
4	重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)								差茅	
5	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)						差茅			
6	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部、棟)、S57屋・部、H3～H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)							耐+葺替		
7	重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45～S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)、H23屋 「便所」S45新築、S59屋、H5屋(部)		便所葺替					差茅		
8	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋			耐+部分葺替	同左					
9	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60移、H5屋(部)、H17屋 「便所」S60新築、H8屋						差茅+便所差茅			
10	県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)、H24屋(部)									
11	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋	耐	部分差茅							
12	県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)				葺替					
13	県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)				部分葺替					
14	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)、H24屋									
15	県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)					葺替				
16	市指定重要歴史記念物	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)		葺替							
17	市指定重要歴史記念物	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)	水車修理		葺替						
18	市指定重要歴史記念物	木小屋	杉皮	H5移、H23屋									
19	県指定重要文化財	旧井岡家住宅	瓦	S61移									
20	県指定重要文化財	旧山下家住宅	茅	S45移、H8屋、H23屋(部)				耐+差葺					
21	市指定重要歴史記念物	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)					差茅				
22	市指定重要歴史記念物	船頭小屋	杉皮	S49移築、S60屋、H12屋、H24屋									
23	市指定重要歴史記念物	旧佐地家門・供待	瓦	S62移、H8部									
24	重要有形民俗文化財	旧船越の舞台	瓦	S47移、S58屋(部)、H8屋、H10屋(部)、H24屋(部)									
25	市指定重要歴史記念物	旧原家住宅	瓦	H2移、H3部、H15部									
		※修理履歴について※ 主に屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理は除く。屋(部)＝屋根部分修理を表わす。屋(部)・部＝屋根部分修理とその他の部分修理を表わす。				耐は耐震補強工事を表わす。 耐震診断の実施及び結果により変更の可能性がある。							

日本民家園民俗部門整備計画

1. 現状

(1)整理・展示

平成15年度(2003)より移築民家寄贈資料の整理・目録作成・企画展示を連動させて進め、作業を完了した。同時に、民家の旧所蔵者を訪ねて衣食住・生業等について聞き取りを行い、調査報告を目録に合冊して刊行した。さらに、目録作成時の電子データを活用し、資料のデータベース化も進めている。

(2)保存

当園の収蔵庫は所蔵点数に比べて狭く、資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されている。保存環境は良好とはいえないが、改善を重ね、資料を直置きしないよう棚を設け、防塵用のクロスで覆う作業を進めている。また、清掃の委託範囲も屋根裏に広げ、ボランティアとも協働して清浄に保つよう工夫を重ねている。収蔵庫については平成17年度(2005)に酸化プロピレンによる全室燻蒸を行ったあと、新たに収蔵する資料については二酸化炭素ガスにより殺虫処理を行っている。また棚を増設して収容力を高め、同時に耐震補強も行った。

(3)収集

収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。

2. 基本方針

(1)整理・展示

民家を主とし、民具の展示はそこでの生活を知るための補助と位置づける。このため民家内には、その民家の資料を、その資料が本来あるべき位置に展示することを基本とする。

(2)保存

野外博物館という特性をよく理解し、民家で本来行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。

(3)収集

川崎市には、地域の資料全般を収集対象とする博物館として市民ミュージアムがある。このため当園は古民家の博物館としての性格を活かし、建築に関わる資料を収集対象とする。

この他、各古民家の展示充実を図るため、旧所蔵者の資料は上記以外のものについても収集対象とする。

3. 今後の計画

(1)整理・展示

昔の暮らしを伝えるべく、聞き取り調査の成果に基づき古民家内部の展示を整備していく。同時に本館常設展示室の1室を企画展示室に改装し、テーマ展示を行っていく。また、外国人利用者の増加に対応し、多言語版音声ガイドの導入を目指す。

(2)保存

耐震性能向上のため、資料の屋根裏収納を解消させていく。

(3)収集

収蔵スペースの都合上積極的な収集活動は行えないが、古民家の旧所蔵者から話があった場合は対応する。また、建築関係の資料については、作業工程を理解する上でまとまりのあるものについては収集していく。

H27.2

日本民家園民俗部門展示出版計画

年度		タイトル	刊行物
15年度	前期	展示室整備	—
	後期	「芝居の立つ町」—船越の舞台のふるさと—	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』
16年度	前期	「家の神々」—作田家の守り札—	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』
	後期	「蚕影山」—養蚕信仰の世界—	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』
17年度	前期	「伊那の菓屋」—信州・三澤家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』
	後期	「清宮家」—登戸に生きる—	『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』
18年度	前期	「山と風」—甲州・広瀬家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』
	後期	「雪に暮らす」—川崎で出会う北国—	『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』
19年度	前期	「むかしむかしかわさきで」—民家園のはじまり・重文伊藤家住宅—	『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』
	後期	「千曲川のほとりで」—佐久の染物屋・佐々木家—	『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』
20年度	前期	「川崎の近代和風建築」—旧原家住宅—	『日本民家園収蔵品目録10 旧原家住宅』
	後期	「南部曲屋」—重文・工藤家住宅の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録11 旧工藤家住宅』
21年度	前期	「貞享四年」—年号のある民家・重文北村家住宅—	『日本民家園収蔵品目録12 旧北村家住宅』
	後期	「宿場の家」—奥州街道・鈴木家—	『日本民家園収蔵品目録13 旧鈴木家住宅』
22年度	前期	「登戸の左官」	—
	後期	「合掌造り」—野原家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅』
23年度	前期	「神奈川の村」—愛甲郡清川村・岩澤家—	『日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』
	後期	「奈良の町屋」—旧井岡家住宅—	『日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅』
24年度	前期	「常陸の民家」—旧太田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録17 旧太田家住宅』
	後期	「白川の郷」—旧山下家住宅—	『日本民家園収蔵品目録18 旧山下家住宅』
25年度	前期	「建築史家・大岡寛の建築」※建築部門で担当	※出版物については資料5参照
	後期	「五箇山」—旧江向家住宅—	『日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅』
26年度	前期	「大工さんの道具箱」	—
	後期	「ダムに沈んだ村」—越中桂・旧山田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録20 旧山田家住宅』
27年度	前期	「むか〜むかしの道具たち」—昔話が伝える暮らし—	解説図録
	後期	「育児道具」	解説図録 『日本民家園収蔵品目録21 別刊 佐地家侍・水車小屋・高倉・木小屋調査報告』

H27.2

民家園叢書一覧及び計画

日本民家園叢書1	『日本古建築の特質・日本の塔』 関口欣也・濱島正士	平成10年9月
日本民家園叢書2	『日本の仏堂・桂離宮とその文化的背景』 鈴木嘉吉・斎藤英俊	平成13年3月
日本民家園叢書3	『多摩丘陵の農家 1955年細山 ー日本民家園の発端ー』 関口欣也	平成15年3月
日本民家園叢書4	『日本民家園の雪囲い』 監修/上野勝久・野呂瀬正男 編集/大野敏・小坂広志・砂川康子・増渕和夫	平成15年3月
日本民家園叢書5	『土蔵の屋根修理を通してみた茅葺の地域性 川崎市麻生区飯草家土蔵の事例から』 大野敏	平成17年3月
日本民家園叢書6	『日本民家園草創期の記憶 ー旧三澤家住宅・旧工藤家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年3月
日本民家園叢書7	『日本民家園草創期の記憶2 ー沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年12月
日本民家園叢書8	『日本民家園草創期の記憶3 ー旧鈴木家住宅・旧船越の舞台ー』 野呂瀬正男・田代勉・小坂広志	平成20年3月
日本民家園叢書9	『日本民家園草創期の記憶4 ー旧井岡家住宅・旧佐地家の門侍・水車小屋ー』 野呂瀬正男	平成22年3月
日本民家園叢書10	『民家は何の木で出来ているか』 中尾七重・布谷知夫	平成23年3月
日本民家園叢書11	『日本民家園草創期の記憶5 ー旧菅原家住宅ー』 野呂瀬正男	平成25年3月
日本民家園叢書12	『日本民家園草創期の記憶6 ー旧山田家住宅・園内管理ー』 野呂瀬正男	平成28年3月

H26.5

大岡文庫関係出版物一覧及び計画

大岡文庫目録	『日本民家園大岡文庫蔵書目録』	平成7年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅰ』	平成10年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅱ 図面資料及び摺拓本資料目録』	平成12年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅰ』	平成14年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(新築設計関連資料)』	平成21年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅰ』	平成15年3月
大岡展開連出版物	『建築史家・大岡實の建築』	平成25年7月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』	平成27年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(大学関連)』	(未定)
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅲ(プリント写真)』	(未定)

H26.5

日本民家園総合防災整備事業計画

1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。
 2 理由:
 (1)開園45年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。
 (2)開園以来、水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。
 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。
 (4)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。鈴木家・三澤家・太田家・山下家について基礎診断をした結果、耐震補強が必要である。また、その他の古民家も予備診断の結果必要なものは基礎診断を実施する予定である。
 (5)工事については国または県より補助金が受けられる場合がある。

年 度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	備考
防災	水道設備 自火報等	調査・基本設計	実施設計	貯水槽	消火配管	消火配管 監視装置	ポンプ設置 消火設備 完成	旧消火設備撤去設計	旧消火設備撤去	旧消火設備撤去	
	園路・崖改修			三澤水車小屋園路改修	鈴木崖補強工事						
古民家耐震	①=基礎診断 ②=設計 ③=工事		該当棟の予備診断	①鈴木家・三澤家	①太田家・山下家 ②三澤家基本・鈴木家実施	②三澤家耐震委員会 ③鈴木家	②三澤家実施・山下家基本	②山下家実施 ③三澤家	②太田家基本 ③山下家	①菅原家 ②太田家実施	以後、順次実施

H27.3

事業評価シート 資料7 日本民家園 平成26年度事業報告

展示

★ 今年度初めてのもの

平成27年3月末現在

事業名	日程	会場	内容等			
企画展示	「五箇山」	1/4-5/25	山下家2階	旧江向家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回 小澤葉菜(園職員)	解説18人	
	「大工さんの道具箱」	7/1-11/30		大工道具をテーマとした展示 展示解説月1回 小澤葉菜(園職員)	解説25人	
	「ダムに沈んだ村」	1/4-5/31		旧山田家住宅をテーマとした展示 展示解説月2回 関悦子(園職員)	解説45人	
常設展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件		
	本館展示		本館展示室	民家及び民家の生活に関する展示		
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等		
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等		
展示事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等古民家の年中行事を展示		
	雪囲い	11/22-3/15	山田家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現		
工芸館	藍T	4/23-6/15	伝統工芸館	型染め、絞り染めによる藍染めTシャツの展示		
	型紙「家紋」	6/18-7/27		染めの型紙の展示		
	講座作品	7/30-8/31、10/22-11/24		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示		
	しぼり染め	9/10-10/19				
	干支	11/26-1/18				
	節句	1/21-4/未定				
	★「ひげ藤の切り絵作品展」	8/12-9/23	ビジターセンター	切り絵作家藤田正俊氏の作品(日本民家園)展示 ポストカード制作販売		

教育普及活動

参加人数

民家園講座	300歳の民家	6/8,15	ビジターセンター・園内	外山明彦(園職員)	19人
	自由研究なぞとき大工道具	8/9		嶋原孝(大工)、畑山拓登・小澤葉菜・関悦子(園職員)	15人
	日本とアジアの多様な茅葺き	12/7・14		日塔和彦(文化財建築技師)	15人
	民家の間取り	2/7・14		大野敏(横浜国大教授)、渋谷卓男・田村央貴(園職員)	24人
ボランティア講座		1/10,17,24,31	原家ほか	新規会員向け、畑山拓登・田村央貴・関悦子他園職員	26人
体験講座	わら細工	5/11,9/28,12/7・21	原家、作田家	ぞうり、わらじ、釜しき、しめ縄(たまかざり) 民具製作技術保存会	79人
	竹細工	4/20,6/8,10/19		六つ目かご、菱四つ目かご、小判型六つ目かご 民具製作技術保存会	69人
	はた織り	6/1・8・15,11/9		裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会	31人
	親子体験	7/26,27,8/10		あしなな、ガリガリ、簡易機 民具製作技術保存会	18組
	大和なでしこ入門講座	7/19・20,2/8・15,3/1	原家	浴衣着付け、着付け入門初級・中級、作法	56人
	★天秤棒たいけん	日曜不定期	北村家	天秤棒で肥桶を担ぐ 豊島秀雄(園職員)	586人
工芸館	しぼり染め	6/14・15,10/18・19	伝統工芸館	初級、中級(各2回連続)	25人
	型染め	7/26・27,9/27・28,11/15・16		初級、中級、干支(各2回連続)	54人
	★ワークショップ	4/26,5/18・25,8/23・24,10/30,1/30		こいのぼり、Tシャツ(初級・中級)、藍の生葉染め、ストール、風呂敷・エコバッグ	61人
公特別	夜の民家園 一紅葉・桜	★11/22・23,3/28・29	宿場・信越	ライトアップ、民俗芸能、昔話、夜なべ仕事 炉端の会・民具製作技術保存会	2,826人
	旧船越の舞台	★5/17-6/8,9/20-10/13の土日祝	船越の舞台	国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	2,329人
こどもまつり	ベーゴマ大会	4/29,9/29,1/11	広瀬家	参加者を募集し、入賞者にはオリジナルベーゴマプレゼント	54人
	おと絵がたり	5/5	佐々木家	おと絵がたりの会	189人
	むかし遊び	5/4・5・6	作田家ほか	民具着用体験・輪投げ・竹馬・竹ボックリ・折り紙・お手玉等 民具製作技術保存会	736人
	邦楽	5/4	佐々木家	箏・チェロ・ピアノ、こども箏体験 中島りんほか	304人、体験6組
	★巨大かぶとを作ろう	5/5	作田家	炉端の会 折り紙で作るかぶとを作る兜	66人
民家園まつり	無料開園	11/3	全園		5,713人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	「義経千本桜」秋川歌舞伎あきるの座(東京都無形文化財)	404人
	むかし遊び	11/3	太田家他	民具着用体験・輪投げ・竹馬・竹ボックリ・機織りなど 民具製作技術保存会	585人
	民技会作品展・頒布会	5/3-6,10/5-11/16	太田、原家ほか	頒布会は日祝のみ 民具製作技術保存会	13回
	伝統技術実演	11/1・2・3	佐々木家・佐地家	堂宮彫刻、彫金、市松人形、水引細工など 伝統技術技法を保存継承する会ほか	—

芸能	人形浄瑠璃	9/23	工藤家	「伽羅先代萩」相模人形芝居下中座(国指定重要無形民俗文化財)	249人
	岩手の郷土芸能	3/8	広瀬家	大森御神楽愛好会、中野七頭舞愛好会 復興支援物産販売同時開催	252人
	初山の獅子舞	3/28	佐々木家	初山獅子舞保存会(県指定無形民俗文化財) 夜の民家園同時開催	—
緑地	生田緑地サマーミュージアム	8/3	緑地全体	納涼民家園(打ち水・井戸汲み・水鉄砲・洗濯板で洗濯・蚊帳・民家でごろ寝・風鈴展示・昔話)、フロンターレ共催クイズラリー、浴衣・甚平で入園無料 炉端の会、民具製作技術保存会	入園570人
	多摩区民祭	10/18	緑地全体	無料開園日 骨董市(旧所在地交流事業同時開催)	5,727人
催し物	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作田家他	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子氏、日本民話の会	1,163人
	お茶会	4/29、5/3・6、10/26、11/2	佐々木家	川崎市茶華道協会、内田社中・川崎北高校茶道部、静楽会	562人
	お蚕さまの絹糸	7/6	野原家	座繰り実演、ずりだし体験 民具製作技術保存会	44人
	小正月モノヅクリ	1/11	北村家	ケズリカケ等の飾り製作実演とまゆ玉団子飾り体験 民具製作技術保存会	20人
	お月見をしよう	10/4	北村家、科学館	月見団子作り・石臼・里芋収穫・団子盗み体験、科学館ではプラネタリウムと月の観察 炉端の会ほか	30人
	旧所在地交流事業	10/18・19 11/23、12/20、3/3	佐々木家他	富山県南砺市 五箇山民俗芸能公演と物産販売 南砺市観光協会他 ★山梨県甲州市 一之瀬高橋の春駒、ころ柿・桃の花配布 甲州市観光協会	—
	実演大工仕事、大工入門	10/26	作田家	昔の大工仕事実演と、大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部他	116人
	お正月を遊ぶ	1/4	作田家他	正月遊び、★甘酒、獅子舞(宮内祭囃子保存会)、むかし話、日本各地の注連飾り展示 着物で入園無料 炉端の会、民具製作技術保存会	入園1,207人
	民家園防火デー関連事業	7/26	ビジターセンター・太田家	太田家焼損小屋公開と焼損復旧工事映像上映	上映会12人
	屋根葺き替え見学会	2月	工藤家外便所	外山明彦(園職員)	35人
	★民俗映像上映会	6/22	ビジターセンター	民族映像文化研究所制作作品「コガヤとともに」の上映	15人
	★大工道具映像上映会	7/13・20、8/24	ビジターセンター	竹中大工道具館制作作品「大工の道具」の上映	44人
	古民家カフェ「陣屋荘」	4・5月、9-11月(土日祝)	原家	古民家の座敷を利用したカフェ 店主公募	2,844人
	★花の市	6/21・22、7/19・20	本館前	アジサイ・アサガオ・ホオズキ等	158人
	★600万人達成記念イベント	11/22	本館前	手作りくす玉、記念品(民家園オリジナル商品)贈呈	12人
	ガイド	民家解説	年10回	園内	1時間で1つの村を案内 田村央貴(園職員)
★くらべてみんな		年6回	園内	テーマを設けて古民家を案内 木下園長	56人
園内ガイド		通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	2,100人
団体ガイド		年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	2,796人
床上公開	毎日(8・12月除く)	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を来訪者に公開・解説 炉端の会	147,325人	
民具製作実演	不定期日曜	園内	わら・竹細工、機織り 民具製作技術保存会	213回	
学校体験学習	年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒の体験 園職員	70校	
学校見学(体験学習なし)	年間	園内		127校	
職業体験	年間	園内		1校2人	
博物館実習	5月-1月	園内	5回、各10日間	16校21人	

調査研究・広報・施設管理

研究調査	移築民家旧所在地調査	山田家、佐地家
	収蔵資料整理	山田家関係資料、大岡資料(建築)
	刊行物	『収蔵品目録20 旧山田家住宅』『大岡実博士文庫 原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』
広報	印刷物	民家園だより、催し物カレンダー、学校向け優待券、ポスター、各種チラシ
維持施設	古民家等保存修理工事	屋根/工藤家便所・作田家・太田家・蚕影山、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修
	園内整備	新総合防災システム(消火設備等)完成、耐震関係(鈴木家補強工事、三澤家実施設計、山下家基本設計)、植栽整備、危険木伐採、園路補修、案内板作成など